

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	内灘町 (17365)
地域名 (地域内農業集落名)	大根布地区 (大根布)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	10.66 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	10.66 ha
② 田の面積	ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	10.66 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・意向調査の結果として、現在3人居る地区の担い手の意見は現状維持(経営面積の維持)と規模拡大(経営面積を増やす)に分かれている。
 今後は地区内外の担い手のうち規模拡大の意向を示した者を中心に受け手と出し手のマッチングを進めて集積率を上げることが検討する必要がある。
 ・現状の地区の課題として、時間帯によっては水不足が発生するということが挙げられるので対策を考える必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・甘藷、西瓜等の生産物の収量や品質の向上を図る為にスマート農業技術の導入等を積極的に検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手への農作業に支障が無い範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	29.36	%	将来の目標とする集積率
			35 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・定期的に地域計画を見直すことにより耕作放棄地や遊休農地が発生する前に担い手を中心に集積・集約化を進め集積率の向上を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・定期的に地域計画を見直すことにより地区の現状を把握し、耕作放棄地や遊休農地が発生する前に中間管理機構を活用しながら担い手を中心に集積・集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・現時点で担い手による集積がされている農地については順次、農地利用集積計画から農用地利用集積等促進計画へ移行するようにし、現時点で集積されていない農地については所有者等の意向を踏まえつつ適宜農地中間管理機構を利用し集積する。
(3)基盤整備事業への取組
・大規模な基盤整備事業に限らず農地耕作改善事業の活用等必要に応じて随時検討するようにし、耕作条件の改善を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・JA等関係機関と連携し、多様な経営体の確保・育成に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・現場のニーズを踏まえた上で、作業の効率化・省略化の為に導入することを随時検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①近年、カラス等の鳥獣による農作物の被害が多くなっているため、誘引物(餌になりうる収穫残さ等)の撤去や罠の設置等被害防止対策を検討する。
- ②堆肥の活用等、有機・減農薬による農法を積極的に取り入れ、環境に配慮した作付け体系を構築する。
- ③農作業の効率化・省略化に向けて日々情報収集を行いつつ積極的に導入を検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		甘藷、西瓜	1.11 ha	ha	甘藷、西瓜	1.31 ha	ha	A	
認農		甘藷、西瓜	1.31 ha	ha	甘藷、西瓜	1.81 ha	ha	B	
認農		甘藷、西瓜	0.71 ha	ha	甘藷、西瓜	1.01 ha	ha	C	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			3.13 ha	0 ha		4.13 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	(株)アグリサポートかなざわ	ドローンによる防除作業	甘藷

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。